



# 図書だより



皆さんが懸命に取り組んだ文化祭も、感動を残して終わりました。そして、いつのまにか空に浮かぶ雲の形も変わり、新しい季節の到来(とうらい)です。図書館には、夏休み以降、250冊を超える、新しい本が入っています。「読書の秋」を満喫(まんきつ)してください。

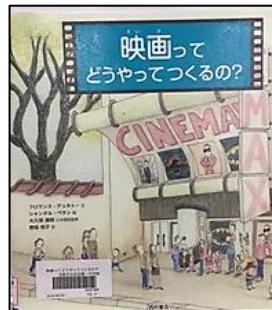
## いろいろな分野の本が入っています



### 「マジックウッズ 戦記」 閻の魔法

クレシッダ・コーウェル 小峰書店

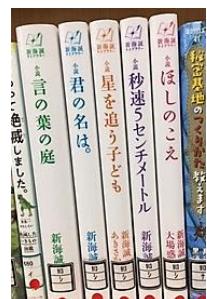
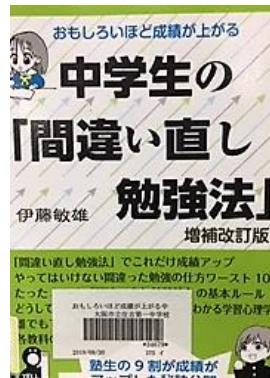
大昔、マジックウッズの森では魔法族と戦士族が争っていた。ある日見つかった大きな黒い羽根。何百年も前にほろびたとされる黒魔族のものなのか…。



### 「映画ってどうやってつくるの?」

フロランス・デュカトー文/シャンタル・ペタン絵 西村書店

「撮影現場にはどんなスタッフがいて、どんなことをしているの?」映画に関するたくさんの疑問に、可愛らしいイラストで答えてくれます。



新海誠ライブラリー

(10月は、本を借りる時、この猫のしおりもついてくる!)



おかえり、  
栄の場所で待ってるよ  
2019・第73回 読書週間  
10/27～11/9



## ●本の読み聞かせ

秋の「読書週間」に合わせ、図書館補助員の荒起さんが、

1年生の各教室へ、「本の読み聞かせ」に出向いてくださいます。お楽しみに！

## 図書館補助員 荒起さんのコーナー

### 『ある晴れた夏の朝』 マ小手鞠るい 偕成社

マルカム・バード作・絵 岡部史 訳 金の星社



2019年の課題図書です。塚脇先生に教えていただき、つい最近読んだ本です。すごく心を揺さぶられました。

アメリカの高校生8人が、広島と長崎への原爆投下の是非をディベートという形で問う作品です。アメリカの高校生といっても、日系、中国系、ユダヤ系…と様々なバックボーンを持った子ども達で、それぞれが原爆を解釈していく様が印象的です。

小説の中で、公開討論という形でストーリーが進んでいき、とても読みやすく書かれています。心に残る文章がいくつありました！

学校図書館補助員の私としては、「一冊の本には人を動かす力があり、人を変える力もある」という文章を書き記しておきたいと思います。まずは、様々な事実を知つて、考えてほしい——そんな一冊です。



火曜日は『図書館デー』、休み時間もOK！

### 10月の開館予定

★…朝  
○…昼休み  
◎…放課後

月	火	水	木	金
	1 ★○○	2 ○	3 ○	4 ○
7 ○	8 ★○○	中間テスト	中間テスト	11 ○
体育の日	15 ★○○	16 ○	17 ○	18 ○
21 ○	国民の休日	23 ○	24 ○	25 ○
28 ○	29 ★○○	30 ○	31 ○	11/1 ○

※1-1 本の読み聞かせ